

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社サンプロ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			社員の賃金、労働時間、労働契約期間、就業場所、従事する業務内容及び退職に関する事項を書面により提示し、労働条件を明示している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント対策チームを設置し、相談窓口の開設や定期的なアンケートを実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			働き方改革の促進のため、全事務所の最終退出時刻を設定し、社員の健康管理や労働災害の抑止に努めている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			入社の条件として国籍の限定はしていない。					4.4			8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			事業所・建築現場の整理整頓に努め、安全衛生に関する規則を設けている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックや定期面談を実施。また有給休暇の取得推奨などリフレッシュしやすい環境を整備している。				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			出産や育児、親族の介護を担う社員に対して、時短勤務や介護休暇の適用など様々なライフスタイルに応じた働き方をサポートしている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内研修を定期開催。住宅建築に関するだけでなく営業スキルやITスキルなど幅広く学べる機会を提供している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働時間や賃金について就業規則に明示し、社員に説明を入社時に行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			定期健診のほか生産性向上委員会を設置し、定期的に働き方を見直ししている。また課外活動を推進し、心身ともにリフレッシュできる場を提供している。				3				8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の処理に関して規則を設け、環境や社会へ悪影響のない処理法を徹底している。										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			温室効果ガス排出量削減のために、エネルギー種別毎の使用量を把握し、自然エネルギーの活用や節電を推奨している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			全体の排出量を把握し、各拠点ごとの排出量抑制に努めている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害物質は使用しないように周知している。			3.9		6.3					11.6	12.4						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
5 6 7 8 9 0 1	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した住宅建築(環境配慮型住宅、認定低炭素住宅、自然素材建材・バツシブデザイン)を通じて、生物多様性保全に配慮している。							6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			事業所・建築現場のごみの分別やリサイクルを徹底している。ペットボトルエコキャップ活動はWebサイトを通じて外部発信し、地域のエコ推進活動にも貢献している。													13		14.1			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水の使用量を定期的に確認し、節水を励行している。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							3.9			6	7						12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			SDGsの取り組みを全社で推進し、同時にWebサイトに積極的に情報開示を行っている。														12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽の光や熱、風など自然の力を暮らしに採り入れて、可能な限りエネルギーを消費しない、省エネかつ快適性が高い住宅建築を提供している。							7.2							13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			国家認定商品を利用し、健康に配慮した製品を採用している。														12.2	13	14	15	
2 3 4 5 6 7 8	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			定期的に管理者教育を実施し、コンプライアンスの徹底を周知している。																	16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			定期的に管理者教育を実施し、コンプライアンスの徹底を周知している。																	16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			特許、商標等知的財産権の取得、管理を実施している。									8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			プライバシーポリシーを策定・公表し、社員には適切な取り扱いを教育している。																	16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			安全衛生意識の向上や技術などに関する研修等をパートナー企業向けに行う安全協力委員会の実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】 「パートナーシップ構築宣言」を作成中(R7年度中公表予定)				3				8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
健康・経済面にも配慮した高性能住宅の提供		家全体の温度を均一に保ちランニングコストが少ない独自の全館空調システムを開発している。	1		3				7					12	13				
住まいのトータルサポート体制の構築		耐久性の高い住宅建築だけでなく、アフターメンテナンス、リフォームから中古住宅の流通までトータルで生活者の暮らしを支えていける住生活サービスを展開している。			3				7	8	9		11						

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定